

# 防災ブックの原稿案について（全体構成）

資料 1

## <東京くらし防災> B6版、170～180頁

## <東京防災> B6版、270～280頁

コンセプト

- 日常の暮らしの中で、手軽に取り組み、防災行動のベースを作る
- 女性視点に加え、高齢者や障害者、子供、外国人、LGBT等、多様な視点に立った防災行動を提示し、あらゆる人に手に取っていただく

- 自らの防災知識を深め、家族や地域の人々と共有する
- 地域やマンション、学校、職場などコミュニティにおける活動にも活用していただく

章立て	ポイント
<b>序章</b>	←ニーズから読むべきページを誘導
メッセージ／プロローグ 読むべき頁への誘導／目次	
<b>1章 いま、できる備えからはじめよう！</b>	←時系列で記載
自宅での備え／買い物／日常備蓄 外出先での備え	←各章とも、 <b>全家庭に共通する防災行動、多様な立場に立った防災行動</b> の順に提示
<b>2章 いま、災害が起きたら？</b>	
発災直後の行動／正しい情報の取得 避難・安否確認の方法	← <b>居住形態や社会の多様性等、社会情勢を踏まえた記載</b>
<b>3章 いま、考えておこう！被災後の暮らし</b>	
被災後どこで過ごすか／避難後の生活／生活再建	←必要情報の書き込み、 <b>防災チェックリスト</b> を掲載
<b>巻末</b>	
踏み出そう、命を守るための第一歩を (必要情報の記載／チェックリスト)	

章立て	ポイント
<b>序章</b>	←アプリ等への誘導
メッセージ／被害想定／活用方法／目次	
<b>1章 巨大地震への備えとアクション</b>	←災害種別ごとに必要な備えとアクションを記載、くらし防災の掘り下げや最新情報、更なる知識を掲載
マンション防災／耐震化／防火対策／防災訓練 避難の流れ／避難所生活／日常生活に向けて	
<b>2章 台風・豪雨災害への備えとアクション</b>	←支援を必要とする方向けの詳細の情報を記載
気候変動による激甚化／風水害から身を守るために	
<b>3章 そのほかの災害への備えとアクション</b>	←幅広い防災知識を掲載し <b>辞書的な活用</b> を促す <b>1</b>
火山噴火／テロ・武力攻撃／感染症／複合災害	
<b>4章 多様な人びとの防災対策を理解しよう</b>	
様々な配慮者の備えや対策のポイント	
<b>巻末</b>	
もしもの防災/知っておきたい災害知識/用語解説	

## 防災ブックの原稿案について（原稿校正の方向性）

### 【全体】

- 2冊の記載内容を棲み分ける（東京くらし防災は行動編、東京防災は知識編）
- 特に、東京くらし防災は、文字量を抑え、イラストを駆使して分かりやすい内容を意識  
詳細な情報は、東京防災に記載する、QRコードを活用しWebに誘導するなどして対応

### 【ポイント】

#### 1 情報へのアクセス【共通】

- 多様な人々がニーズに応じて、読むべき頁にたどり着くための工夫  
※ 誰も取り残さないという幅広のメッセージと、属性に応じてどこから読むかという機能面を両立

#### 2 災害を自分事と捉えつつ、読み進めてもらう工夫【くらし防災】

- 冒頭部分のインパクト（平時の風景から発災時の風景への展開）  
※ イラストを用い、インパクトを追求しつつも、徒に恐怖心を煽らないよう配慮
- 防災力診断テスト（誤答の場合は該当ページの誘導、正答数に応じて防災力を診断）
- 一日の生活に応じた防災チェックリスト（行動変容を喚起）

#### 3 社会情勢を踏まえた記載の充実【共通】

- 最新の情報：マンション防災、多様性への配慮（女性、高齢者、障害者、子ども、性的マイノリティ等など幅広く）

国民保護、防災DXの取組

- キーワード：トイレ対策、防災グッズを使ってみる、ガラス対策、好事例・被災者の声、地震火災、線状降水帯、長周期地震動、「避難」の定義

# 防災ブック「東京くらし防災」の原稿案について（皆様からの主なご意見と対応方針）

該当ページ	主な意見	対応方針
序章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メッセージが暗い印象。もう少し明るくしてもよいのではないか。</li> </ul>	P3~7の書きぶりについて、委員会での意見交換を踏まえ、方向性を決定
第1章全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京の防災で大事な点は在宅避難生活に関することである。そのため、必ずやってもらいたい備え（対策）を優先順位を決めて、取り上げてはどうか。</li> </ul>	くらし防災に記載の対策は全て必ずやってもらいたいもの。その中で、特にというものは表現・イラストを大きくするなど工夫 ⇒特に重要なものを議論
P29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「さらしが、防災アイテムになる」という記載は時代にそぐわないのではないか。</li> </ul>	第2校以降で表現を削除するか検討
P36-37	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品化された簡易トイレをまずは使ってみるといった案内があってもいいのではないか。</li> </ul>	第2校以降で記載を追加
P82	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊産婦の備えについて、女性特有の留意事項（ex.産後の生理等）に関する記載が少ないため、具体的に記載したほうが良い。</li> </ul>	第2校以降で記載を追加
P84	<ul style="list-style-type: none"> <li>・笛を吹くという行動がなぜ必要か、災害時にどう役立つのか分かりにくい。</li> </ul>	第2校以降で記載の追加を検討
P107	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波避難タワーはまだ十分に設置されているとは言えない。ホテルなど高い建物の上階へ逃げることも入れてはどうか。</li> </ul>	第2校以降で記載の追加を検討
P130	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者という用語について、防災ブックにおいては「要配慮者」に統一してはどうか。</li> </ul>	関係部署に確認の上、表現の変更を検討
P162-163	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害関連死は在宅の方が圧倒的に多いため、体調を崩さないようにする項目は、在宅避難に関する頁に記載してはどうか。</li> </ul>	第2校以降でP156-157の在宅避難の頁に体調管理の項目を追加
その他（イラスト等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストについて複数の意見あり                      （例 机の脚の持ち方は、対角線の脚を持つ図にする等）</li> </ul>	イラスト・デザイン校正で対応

# 防災ブック「東京防災」の原稿案について（皆様からの主なご意見と対応方針）

該当ページ	主な意見	対応方針
P10-11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このページは極めて重要。状況を説明するのではなく、わが事としてイメージがしっかり持てるよう、イラストを多用するなど、ページ数を増やしてはどうか。</li> </ul>	イラストを入れる。ページ数を増やすかどうかは減らすページと合わせて、委員会で検討
第1章全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備蓄について、行政機関が何をどのくらいの備蓄しているかを踏まえ、個人が何をどのくらい備蓄すればよいか分かるようにしてはどうか。</li> </ul>	P34~39の中で、個人の備蓄について記載している。行政機関の備蓄については、記載の要否・範囲を要確認
P126	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所の説明について、「在宅避難は自宅に住めなくなった方が、応急的に生活する場所です・・・」のような形で説明をし、在宅避難に誘導するよう記載を追加・工夫してはどうか。</li> </ul>	第2校以降で表現を追加
第3章全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風・豪雨災害について、自分がどのように備え行動すれば良いか分かるよう、重要項目を大きく示すなど、分かりやすいようにしてはどうか。</li> </ul>	特に重要な項目について委員会で議論の上、第2校以降で表現・イラストを大きくするなどの工夫を検討
第5章全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な人々の命、尊厳、くらしが守られる地域共生社会の理念が必要であり、「支援者が要支援者を守る」を強調すると、支援者と要支援者が分断される。</li> </ul>	第2校以降で表現を変更
その他（イラスト等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストについて複数の意見あり（人物イラストの性別について工夫すべき等）</li> <li>・個別避難計画について意見あり（要介護者など本人の状況よりも支援者がいるかが重要等）</li> </ul>	イラスト・デザイン校正で対応

## 防災ブック全般について（皆様からの主なご意見と対応方針）

該当ページ	主な意見	対応方針
文字量	<ul style="list-style-type: none"><li>・「東京くらし防災」については、文字量・記載内容を増やし記載を充実すべきという意見がある一方、現行の「東京くらし防災」の文字量・記載内容でも多いという意見あり</li></ul>	<p>「東京くらし防災」は、日常の暮らしの中で、手軽に取り組み、防災行動のベースを作るための防災ブックとして位置付けている。このため、文字量を抑え、イラストを駆使して分かりやすい内容を意識した作りとしたい。 ⇒文字量について委員会で議論</p>
アプリとの連携	<ul style="list-style-type: none"><li>・スマートフォンでアプリと連携するなど、冊子以外にも防災ブックを展開してはどうか。</li></ul>	<p>電子版の公開、冊子の配送だけでなく、今後、アプリとの連携など、様々な場面で活用してもらえるよう工夫することを検討</p>
広報展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・防災ブックの公開に合わせて効果的な広報を行うことで、都民が防災ブックを実際に手に取ってもらえるようになる。</li></ul>	<p>防災ブックを実際に読んでもらえるよう、防災ブックの公開に合わせ、効果的に各種広報を展開</p>

# 防災ブックの原稿作成スケジュール

